



東京理科大学報

TUS *Journal*

Topics

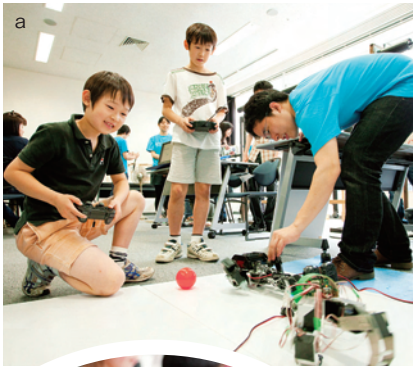
サイエンスフェア
「みらい研究室」開催

平成22年度決算報告

vol. **182**

サイエンスフェア みらい 研究室 開催

科学の楽しさを伝える
「みらい研究室」が、
お台場の
日本科学未来館で
開催されました



a.一部無線研究部による、ロボットの体験
操縦コーナー。b.基礎工・材料・飯田研
究室による、地球儀を浮かせる実験。c.レー
シングカーの試乗体験ができる機械工学研
究会のブース。d.熱電発電で電車を動かす
実験コーナー（飯田研）。e.芳香剤を作る
化学実験ができる二部化学研究部のコーナー。
f.理一・物理・川村研究室による、サイエ
ンスライブショーの様子。



東京理科大学の学生たちが、小・中・高
校生や一般の方を対象に、科学や技
術の楽しさを伝えるイベント「みらい研
究室2011～科学へのトビラ～」が、6月11
日（土）、12日（日）の両日、東京・お台場
の日本科学未来館7階で開催され、2日間
で2,333人の来場者を集めました。

今年で6回目を迎えるこのイベントにつ
いて、みらい研究室実行委員長の山崎陽香さん
（理学部第二部化学科3年）に聞きました。

『「みらい研究室～科学へのトビラ～」は、

2006年に、創立125周年記念イベントの一
つとして誕生しました。翌年からは学生主催
のイベントとして、毎年6月に日本科学未来
館で開催しています」

会場では、数学、化学、物理、生物、機械
工学など、さまざまな分野の学生団体や研究
室が趣向を凝らした展示や体験イベントを展
開。中でも、ものづくりサークルCreateの
「浮く！走る！ホバークラフトを作ってみよ
う！」や、理工学部化学研究会の「スライム作
り、人工イクラ作り」などに、多くの参加者

が詰めかけていました。

山崎さんは『みらい研究室』の意義について、
「“理科大生でなければ伝えられない理科の魅
力”を伝えること」と語ります。

「興味を持った展示物を見つけて、夢中で駆
け出していく子どもたちの姿を見ると、自分
が幼かった頃にワクワク、ドキドキした記憶
がよみがえってきます。きっと私たちも、そ
んな驚きや発見から、理科を愛する気持ちが
生まれ、育んできたのだと思うんです。誰よ
りも理科が好きで、熱意を持って学んでいる

理科大生だからこそ、伝えられることがある
と思います」

小学生の男の子2人を連れて参加したお母
さんに話を聞くと、「学校では理科が苦手な子
たちなのに、2人とも目を輝かせて楽しんで
いるので驚いています。こんなふうに理科好
きになってくれたらうれしい。来年もぜひ参
加したいです」とのこと。

来年は7回目を迎える『みらい研究室』。本
学イベントの“6月の顔”として定着しつつあ
るようです。

火災科学研究センターが 「東日本大震災の津波と火災：現地調査報告会」 を開催

火災科学研究センターが5月に開催した東日本大震災の現地調査報告会の内容について、
同センターの辻本誠教授に聞きました

5月12日（木）、神楽坂キャンパスにお
いて、「東日本大震災の津波と火災：
現地調査報告会」が開催されました。当日は
報道関係者を含め約200人が参加。講演の
様子はインターネットの動画共有サービス
『Ustream（ユーストリーム）』でライブ放送さ
れ、会場に入りきらなかった来場者が別教室
で映像と音声によって視聴するほど、関心の
高さがうかがわれました。

報告会を主催したのは東京理科大学総合研
究機構火災科学研究センター。そのメンバー
の一人で、報告会の司会を務めた辻本誠教授
（大学院国際火災科学研究科、工学部第二部建
築学科）に話を聞きました。

「私たちは、震災発生3日後の3月14日に
『東日本大震災調査本部』を立ち上げ、調査・
研究活動を開始。同月29、30日には、3人
のスタッフとともに現地調査を行いました」

その意義について、辻本教授は「今回の震
災では、津波と原発事故による被害があまり
に甚大だったために、火災による被害の状況
があまり注目されていません。しかし今回の
調査によって、火災の面から見ても、極めて
大規模かつ広範囲の被害が起こっていて、そ
の発生要因も多様であることがわかってきま
した。例えば小・中学校で、避難時に使った
自動車のガソリンから出火し火災が起きるな
ど、特徴的な被害も出ています。また現地の
消防隊員からは『火災発生の通報を受けても、
大量の瓦礫に阻まれ、現場へ近づくことさえ
できなかった』という貴重な証言も得ること

ができました。さらに、停電復旧後の通電時
に電化製品による火災が発生するなど、過去
の教訓が生かされていないと考えられる例も
見られています。こうした火災被害の調査・
研究結果を社会に向けて発信し、情報提供す
ることで、被災地の復興計画や今後の防災対
策に反映させることは、非常に重要な意味を
持っています」と語ります。

同センターは、大学としては国内唯一の、
火災科学研究に特化した研究機関。これま
でも、国内外において火災工学分野の中核と
して貢献してきました。

「今後発生が予想される首都直下地震や東
海・東南海地震では、大規模な都市火災も危
惧されます。その意味で、火災科学という研

究分野が今ほどその役割を求められている時
はありません。今回の現地調査報告会は、全
国の消防官の方たちもUstreamを通じて注
目してくれているようです。私たちは今後も、
今回の大震災について継続的なリサーチを行
い、その結果を広く一般の人に伝えていき
たいと考えています」

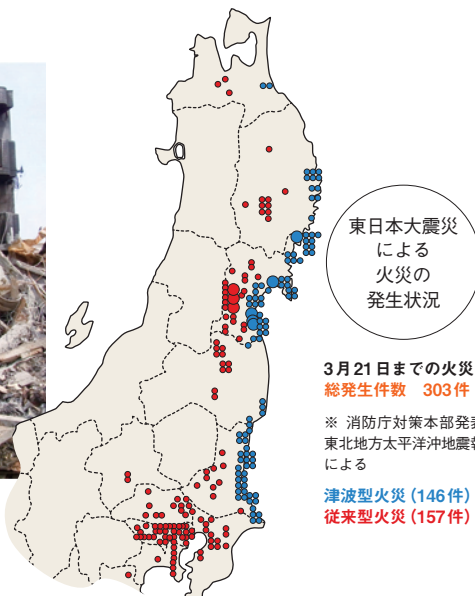


工学部第二部建築学科
辻本 誠 教授

1974年東京大学工学部建
築学科卒業。1978年東京
大学工学系研究科建築学博
士中退。ドライミストを利用
した環境改善に関する研究
のほか、総合研究機構火
災科学研究センターで火災
に関する研究に取り組む。



気仙沼市の気仙沼湾西岸で、火災によって焼失した建物
（撮影：東京理科大学 関沢研究室）



課外活動事故防止策と ワンダーフォーゲル部の 解散について

昨年8月、本学ワンダーフォーゲル部
の夏期合宿中において、部員3人の尊い
命が失われるという極めて残念な事故が
ありました。

学生部はこの事故を重く受け止め、ワ
ンダーフォーゲル部員とともに事故の全
貌を調査し、「安全管理」「クラブ運営
のあり方」「基本的なクラブの体制」に
ついて繰り返し話し合いを行いました。

また、学生部は、自然を対象とする
スポーツクラブ・サークルの課外活動の
円滑な運営のあり方について議論を行
い、今後、自然災害による課外活動事
故を未然に防ぐために、次の方策を実
施するとの結論に至りました。

①自然災害による事故が起こりうるスポ
ーツクラブ・サークルを学生部が選定し、
これらの団体が課外活動を行う場合に
は、OBや当該スポーツに精通した者が
随行するか、事前に指導を受けるよう周
知徹底すること。

②学生課に提出する所定の合宿届のほ
かに、計画書の提出を義務付け、各地
区学生部長は計画について詳細なヒア
リングを実施すること。

また、各部員は計画書を保護者に提示
し、事前に参加の承諾を得ることを前提
とすること。

③I部体育局、II部体育会顧問である
体育科目担当教員の主催による、大学
運動部活動のリスクマネジメント等をテ
ーマとする講演会を実施し、全運動系ク
ラブ・サークルの幹部部員の参加を義務
付けること。

一方、ワンダーフォーゲル部から学生
部に、部を解散したいとの願い出があり、
これを受けて学生部は、当分の間（部
の解散日から起算して5年以上）、同様の
活動を行う学生団体を承認しないことと
し、平成23年3月10日付けをもってワ
ンダーフォーゲル部は解散となりました。
大学は、これからも危険を伴うスポーツ
に対して、安全管理の徹底指導に努め
てまいります。

維持拡充資金(第二期) 寄付者芳名

「維持拡充資金(第二期)」にご賛同いただき、ご寄付をたまわった方々のご芳名を掲載します。今回は、2011年2月1日～4月30日までにお振り込みいただいた分です。

なお、4月1日～5月31日にいただいた寄付金は、東北関東大震災(東日本大震災)の被災学生に対する支援金とさせていただきます。

ご芳名は区分別・金額別・五十音順ですが、区分で重複する方はいずれか一つに掲載させていただきました。累計は維持拡充資金(第二期)の寄付額です。

【個人】
(同窓生)
◇金5,500,000円
森野 義男 様
(累計金23,500,000円)
◇金1,000,000円
天野 久 様
匿名 1 名
◇金650,000円
水島 肇男 様
(累計金1,250,000円)
◇金500,000円
諏訪部 喜義 様
中里 宏夫 様
匿名 1 名
◇金200,000円
石神 一郎 様
(累計金700,000円)
塚本 高之 様
(累計金400,000円)
常盤 文克 様
濱田 堯 様
山田 義幸 様
(累計金400,000円)
匿名 1 名
◇金150,000円
岡本 公爾 様
(累計金350,000円)
◇金100,000円
池ノ内 純睦 様
内山 幹夫 様
加藤 光男 様
葛田 正雄 様
(累計金400,000円)
黒住 忠夫 様
厚井 一恵 様
菰田 肇 様
酒匂 昭男 様
島崎 益男 様
諏訪部 充弘 様
露木 梅次 様
寺澤 はるか 様
寺脇 康文 様
(累計金200,000円)
中村 彬 様
根本 悦朗 様
福田 義克 様
本城 弘樹 様
松井 辰男 様
(累計金200,000円)
松田 徳治 様
松本 二三蔵 様
宮川 公治 様
(累計金400,000円)
宮川 照郎 様
森 幸夫 様
山下 正 様
(累計金150,000円)
山田 隆司 様
四枝 敬一 様
匿名 4 名
◇金70,000円
匿名 1 名
◇金50,000円
相田 良成 様
有福 浩信 様
五十嵐 聡 様
井口 啓 様
石曾根 誠一 様
伊東 千代治 様
宇田川 文良 様
大久保 清 様
大隈 和男 様
大崎 多久司 様
大澤 弘充 様
岡野 和宣 様
尾鼻 元次 様
城戸 悠士朗 様
草野 肇 様
栗原 良平 様
黒岩 弘五郎 様
(累計金150,000円)
小林 孝志 様
佐藤 澄江 様
塩崎 正明 様
清水 基弘 様
鈴木 恒行 様
高橋 敬三 様
高山 あけみ 様
竹内 誠 様
田中 定樹 様
中島 文雄 様
中島 雄介 様
永島 良治 様
野口 令子 様
原 博夫 様
(累計金100,000円)
堀江 充 様
本田 正男 様

松尾 剛史 様
宮崎 圭子 様
村松 和雄 様
室地 晴美 様
山口 薫 様
吉田 良二 様
匿名 8 名
◇金40,000円
加治 道子 様
◇金30,000円
石川 万寿雄 様
石田 幸久 様
伊藤 義人 様
井上 秀子 様
岡崎 博明 様
尾崎 敏 様
落合 優 様
海瀬 秀行 様
鎌田 陽子 様
川下 安司 様
木村 正明 様
久米 政樹 様
黒崎 弘康 様
小泉 繁幸 様
高野 典子 様
後藤 隆一 様
澤田 日出海 様
重松 紀美恵 様
末澤 敏文 様
鈴木 規之 様
瀬在 保博 様
瀬戸島 志乃 様
高岸 正人 様
高橋 明義 様
竹内 一晃 様
武宮 利徳 様
田中 陽一 様
田中 義友 様
谷本 真人 様
照屋 安正 様
友栗 浩志 様
鳥居 文彦 様
中西 基之 様
中村 泰三 様
野田 究 様
橋本 憲 様
塩原 弘太 様
平山 紘一 様
深沢 郊子 様
布施 昭三玖 様
古立 直也 様
古橋 一男 様
牧田 和人 様
重衛 様
松岡 是治 様
宮本 和敏 様
宮本 仁 様
山下 洋人 様
山田 親夫 様
山本 雅基 様
吉田 信彦 様
和田 和子 様
匿名 11 名
◇金20,000円
会田 實 様
相場 清志 様
赤見 正行 様
秋山 陽子 様
阿久津 朋美 様
浅野 玲緒奈 様
野田 尚之 様
綾部 裕一 様
坂山 三郎 様
伊藤 陽 様
井上 一則 様
伊庭 正泰 様
梅崎 徹雄 様
梅原 武 様
岡田 明久 様
岡村 秀時 様
片山 俊一郎 様
(累計金100,000円)
金田 陽子 様
兼安 哲 様
久保田 隆史 様
栗城 一成 様
小林 繁治 様
小林 裕 様
小山 繁 様
薩摩林 紘子 様
佐藤 秀子 様
澤崎 憲一 様
白石 國光 様
鈴木 博 様
多田 英次 様
田中 義之 様
谷畑 充 様
近政 秀紀 様

辻 文雄 様
露崎 勝悟 様
土井 克嘉 様
中澤 和輝 様
中島 正幸 様
長谷 文雄 様
中丸 久一 様
楢原 省司 様
西島 径子 様
長谷川 謙 様
服部 愛希 様
林 裕 様
原 光博 様
細谷 洋一 様
増淵 忠行 様
松下 有為 様
松田 秀夫 様
丸田 将迪 様
三瀬 敬敦 様
妙円園 勉 様
望月 宗夫 様
森合 奈穂 様
山本 操男 様
匿名 1 2 名
◇金15,000円
今里 晴敦 様
鈴木 理沙子 様
森下 祐行 様
匿名 2 名
◇金10,000円
相原 奎二 様
赤坂 利郎 様
高橋 憲治 様
秋葉 裕司 様
明田 成一 様
浅川 洋行 様
芦澤 正則 様
安部 栄子 様
新井 一司 様
新井 雅巳 様
新井 穂里 様
有間 博道 様
飯岡 健 様
飯島 朋子 様
飯田 広和 様
飯野 昌二 様
五十嵐 茂光 様
五十嵐 富久 様
池内 孝夫 様
池田 慈 様
石井 清一 様
石川 英司 様
石塚 好一 様
石原 伸員 様
泉 直宏 様
井間 清志 様
五十川 文士 様
市川 武宜 様
市来 功 様
市村 裕 様
井手 義道 様
伊東 弘禎 様
伊藤 浩 様
(累計金60,000円)
伊藤 博行 様
伊藤 良則 様
福見 隆 様
井上 宏 様
井上 真人 様
今西 恒太郎 様
入 英樹 様
岩岡 正視 様
岩瀬 和弘 様
岩淵 洋 様
岩谷 浩 様
植松 捷之 様
(累計金30,000円)
植松 光子 様
(累計金20,000円)
宇佐美 功 様
臼井 孝典 様
宇野 徹平 様
(累計金20,000円)
生形 直也 様
海野 泰一 様
江幡 孝道 様
横本 博和 様
蝦名 由紀江 様
遠藤 桂司 様
老川 是明 様
大上 政樹 様
大城戸 淳二 様
大久保 雄二 様
大迫 新 様
大迫 匡毅 様
大園 和大 様
太田 大介 様
太田 全也 様

大谷 一人 様
大畠 茂 様
大松 幸生 様
大見 和宏 様
岡田 一成 様
(累計金30,000円)
荻野 春之助 様
小澤 梅樹 様
小澤 佳代子 様
小田嶋 圭 様
小山田 晃雄 様
海吉 寛 様
加藤 商朗 様
加藤 一啓 様
加藤 強 様
加藤 政行 様
加藤 良幸 様
角谷 匡規 様
角谷 悟 様
金井 眞 様
金田 弘 様
金子 達也 様
鹿野 耕次 様
狩野 哲光 様
蒲田 正子 様
唐木 博夫 様
川上 ムツミ 様
河野 茂磨 様
川原 雅史 様
木内 忠典 様
(累計金30,000円)
菊野 泰治 様
岸 圭井子 様
岸 隆幸 様
岸本 吉則 様
木下 知子 様
木村 聡 様
忽那 史徳 様
功刀 たか子 様
久保 輝雄 様
久保山 芳英 様
熊田 章 様
森田 洋一 様
小泉 南男 様
小島 英夫 様
小島 宏之 様
児島 龍一 様
後藤 潔 様
小西 希 様
小林 克彦 様
小林 秀樹 様
小林 康英 様
小林 良民 様
小針 明浩 様
小松 和人 様
小松 寿 様
小山 一郎 様
近藤 英世 様
齋藤 敦夫 様
齊藤 以智予 様
齋藤 賢司 様
齋藤 浩 様
佐伯 豊 様
坂本 昌央 様
佐々木 博 様
佐佐 祐子 様
佐藤 和久 様
佐藤 文治 様
佐藤 みつ子 様
佐藤 恭 様
佐藤 喜子 様
澤田 拓磨 様
三郎 俊彦 様
志垣 直俊 様
四方 義幸 様
穴戸 肇 様
篠澤 博一 様
芝沼 孝 様
渋谷 正恒 様
清水 保雅 様
莊司 浩利 様
白井 孝 様
神 和司 様
末岡 善樹 様
(累計金20,000円)
菅原 榮蔵 様
(累計金40,000円)
杉田 政久 様
(累計金20,000円)
杉山 茂 様
鈴木 明夫 様
鈴木 珠喜 様
鈴木 齊 様
鈴木 松江 様
須々田 秀美 様
関口 武 様
関谷 弘 様
染矢 達己 様

田貝 正吉 様
高尾 ふじ江 様
高木 正人 様
高木 幸弥 様
高瀬 亨徳 様
高田 耕太郎 様
岡村 昌佳 様
高橋 毅澤 様
高橋 信一 様
高橋 真 様
瀧井 忠次 様
滝川 麻衣 様
竹内 功 様
竹内 隆一 様
武澤 幸男 様
竹下 彰一 様
竹永 智裕 様
田沢 誠二 様
伊達崎 義信 様
田中 清 様
田中 幸雄 様
田中 節子 様
田中 哲平 様
田中 義信 様
谷岡 直樹 様
谷口 一成 様
谷澤 幹也 様
田村 吉章 様
千葉 慎一郎 様
長 信成 様
月井 武雄 様
土田 眞 様
常見 俊明 様
出井 那直 様
天白 正宣 様
土井 克元 様
土肥 亮一 様
藤堂 悠輔 様
戸上 恵央 様
徳本 和司 様
笠本 泰三 様
富田 桂次 様
富田 秀光 様
富田 雅志 様
豊田 圭 様
内藤 伸一 様
中島 共一 様
中島 拓一 様
永田 和之 様
永戸 章義 様
仲野 利昭 様
永野 正治 様
中村 重行 様
中村 實 様
(累計金20,000円)
中山 直樹 様
渡川 裕良 様
行方 英二 様
新矢 哲康 様
仁科 康 様
西村 博明 様
野口 晃 様
野崎 芳美 様
野澤 一郎 様
野澤 清 様
野中 武 様
野村 幸代 様
佐伯 幸樹 様
萩原 多聞 様
橋本 榮治 様
(累計金19,790円)
長谷川 薫 様
長谷川 裕 様
長谷川 由夫 様
長谷川 士 様
濱 善久 様
濱田 昭士 様
浜本 慶子 様
早川 博彦 様
林 一男 様
林 茂 様
原田 李明 様
原田 勉 様
原田 敏行 様
福山 延孝 様
樋口 裕之 様
日南山 秀樹 様
平井 淳一 様
平岡 眞智子 様
平川 芳孝 様
平沢 剛 様
若狭 晋 様
◇金8,000円
◇金7,000円
岡崎 文雄 様
◇金5,000円
赤間 晃 様
安達 錦吾 様
吾妻 克英 様
飯田 義雄 様
藤縄 朋子 様

舟木 一敏 様
古嶋 時人 様
古野 勝也 様
逸見 幹雄 様
保坂 舜毅 様
星野 孝道 様
星野 雄太 様
細井 博 様
細江 秀 様
細見 吉寿 様
堀内 正人 様
本勝 隆 様
前園 依佐子 様
牧本 充郎 様
幕内 研司 様
正岡 武 様
増永 将二 様
増淵 広道 様
町田 和士 様
松井 美智子 様
松浦 健 様
松尾 稜威 様
松原 茂樹 様
清水 千里 様
松本 恭一郎 様
松山 芳一 様
高村 光章 様
三井田 達雄 様
御滝 達雄 様
満島 寛 様
三橋 弘行 様
宮坂 俊作 様
宮崎 けい子 様
宮崎 俊三 様
宮澤 陵 様
宮田 和博 様
宮本 惇 様
向井 雅子 様
棟方 滋 様
村上 俊一郎 様
村上 武夫 様
村野 祐一 様
村山 宥一 様
持永 芳文 様
森重 愛司 様
森下 誠次 様
(累計金20,000円)
森谷 美紀 様
柳生 幸子 様
矢崎 英一 様
矢島 則行 様
保田 弘 様
安野 元啓 様
矢田 亨 様
柳井 幸男 様
矢野 裕之 様
(累計金30,000円)
矢野 文雄 様
山崎 一信 様
山田 麻代 様
山田 和明 様
(累計金20,000円)
山田 玲子 様
山谷 安雄 様
山梨 節子 様
山西 一徳 様
山口 恵美 様
山本 恵美子 様
山本 正敏 様
山本 みすず 様
雪野 健 様
横田 憲治 様
横山 利光 様
高瀬 理江 様
吉岡 泰子 様
吉川 和宏 様
吉田 康和 様
吉原 直雄 様
吉光 俊子 様
与那原 邦夫 様
頼 礼央 様
若菜 吉之 様
若藤 咲江 様
和久井 充 様
渡邊 信一 様
渡辺 綱夫 様
渡辺 徹 様
渡辺 勝 様
匿名 74 名
◇金8,000円
◇金7,000円
岡崎 文雄 様
◇金5,000円
赤間 晃 様
安達 錦吾 様
吾妻 克英 様
飯田 義雄 様
石伏 叡齋 様

井田 安男 様
上田 章 様
宇津木 孝充 様
宇津木 マリ 様
大角 孝 様
大村 和也 様
大矢 あゆ 様
小笠原 諭 様
奥津 和久 様
長内 隆明 様
音田 大樹 様
加藤 学 様
釜谷 佳男 様
木下 卓馬 様
木村 亮 様
小岩 美恵 様
(累計金27,000円)
権田 武彦 様
佐々木 操 様
佐治 蔵 様
佐藤 恒久 様
篠原 晴夫 様
島田 收 様
清水 千里 様
添田 健 様
泰井 まどか 様
高岡 隆一 様
種田 浩大 様
常川 郁代 様
永目 正 様
西川 眞琴 様
二宮 克美 様
萩原 康正 様
林 光世 様
原 公一 様
原 寛 様
福井 信孝 様
古河 俊輔 様
古川 昇一郎 様
古野 晃洋 様
堀内 文雄 様
松田 亘男 様
村田 俊子 様
室井 淳 様
(累計金10,000円)
毛利 啓之介 様
横地 光明 様
和田 英明 様
匿名 1 5 名
◇金3,600円
福本 利道 様
◇金3,000円
赤星 万由子 様
石井 信治 様
石橋 重厚 様
金井 麻里子 様
高橋 理江 様
武田 文隆 様
千布 常雄 様
中島 吉則 様
二谷 正義 様
野村 透 様
樋口 正夫 様
藤田 秀樹 様
堀 真治 様
水落 悟 様
山口 辰男 様
匿名 6 名
◇金2,000円
麻生 高伸 様
蛭浪 敦 様
植田 正仁 様
金井 孝志 様
秦 芳昭 様
武山 悠 様
西村 光永 様
長谷川 永 様
福田 靖 様
山中 一 様
芳沢 周司 様
匿名 3 名
◇金1,000円
宇野 喬 様
大能 伸治 様
佐藤 孝二 様
武本 哲司 様
竜野 恒志 様
深沢 寿 様
匿名 2 名

◇金30,000円
佐々木 義信 様
佐藤 薫 様
角南 源五 様
◇金20,000円
長坂 進 様
松本 慎司 様
◇金15,000円
江波戸 勝 様
◇金10,000円
大島 喜八 様
大橋 亨 様
岡沢 真澄 様
黒澤 満美 様
島田 三郎 様
鈴木 眞由美 様
諏訪 早苗 様
高橋 新一 様
竹本 雅則 様
松下 俊夫 様
三間 繁夫 様
村松 和夫 様
山口 久男 様
匿名 6 名
◇金5,000円
石河 真通 様
祖父江 明子 様
◇金1,000円
匿名 1 名
【一般個人】
◇金2,500,000円
森野 晴 様
◇金100,000円
匿名 1 名
葛田 靖史 様
長谷川 たけよ 様
◇金20,000円
原山 巖 様
匿名 1 名
◇金10,000円
下野 俊和 様
本田 達雄 様
匿名 3 名
【元教職員】
◇金100,000円
匿名 1 名
◇金80,000円
柏谷 衛 様
(累計金130,000円)
◇金70,000円
平野 道勝 様
(累計金170,000円)
◇金50,000円
渡邊 昭二 様
(累計金100,000円)
匿名 1 名
◇金10,000円
上原 孝雄 様
(累計金110,000円)
曾宮 建夫 様
匿名 1 名
【教職員】
◇金1,900,000円
藤嶋 昭 様
(累計金2,600,000円)
◇金1,750,000円
塚本 桓世 様
(累計金2,750,000円)
◇金1,000,000円
東 隆親 様
◇金300,000円
澤 芳昭 様
(累計金1,300,000円)
村田 雄司 様
(累計金800,000円)
吉本 成香 様
渡辺 恒夫 様
(累計金1,300,000円)
◇金250,000円
長谷川 佑子 様
◇金210,000円
福山 秀敏 様
(累計金230,000円)
◇金200,000円
池北 雅彦 様
(累計金400,000円)
幡野 純 様
(累計金500,000円)
◇金150,000円
宇津 栄三 様
(累計金550,000円)
◇金100,000円
阿部 正彦 様
石村 園子 様
大島 広行 様
岡村 総一郎 様
匿名 1 名

齊藤 進 様
(累計金300,000円)
坂本 功 様
(累計金600,000円)
佐藤 毅 様
(累計金350,000円)
菅原 秀章 様
(累計金300,000円)
高 久晴 様
(累計金200,000円)
竹中 正 様
中田 忠 様
森 克己 様
森 健一 様
匿名 1 名
◇金60,000円
山田 俊彦 様
(累計金210,000円)
◇金50,000円
岩片 志志郎 様
(累計金100,000円)
鶴澤 真治 様
榎本 成己 様
金元 哲夫 様
木村 悦郎 様
(累計金100,000円)
清岡 智 様
(累計金150,000円)
小久保 正己 様
(累計金100,000円)
菅井 悟 様
田口 淑子 様
西村 彰一 様
山下 輝雄 様
(累計金190,000円)
吉田 充輝 様
匿名 1 名
◇金30,000円
白川 晋吾 様
友田 敬士郎 様
干鯛 眞信 様
廣田 慶司 様
匿名 3 名
◇金25,000円
原 泰志 様
(累計金55,000円)
◇金20,000円
小林 嶺道 様
長澤 壽一 様
村上 利章 様
匿名 1 名
◇金17,000円
東原 美子 様
◇金15,000円
加賀谷 貞夫 様
(累計金85,000円)
佐竹 彰治 様
(累計金50,000円)
増田 美智子 様
(累計金50,000円)
◇金10,000円
遠藤 三郎 様
大木 達也 様
(累計金30,000円)
大森 英樹 様
小島 日出夫 様
須田 亮 様
(累計金60,000円)
寺本 隆幸 様
平木 多賀人 様
牧 高司 様
(累計金30,000円)
◇金5,000円
新井 伊佐男 様
(累計金55,000円)
◇金3,000円
佐伯 政俊 様
(累計金48,000円)
永田 寅臣 様
【法人】
◇金6,000,000円
株式会社 岡村製作所 様
◇金3,000,000円
株式会社 柿本商会 様
【団体】
◇金271,813円
日本管理会計学会
有志一同 様
大沼 宏 様
原田 昇 様
山下 裕企 様
吉岡 正道 様
◇金200,000円
トステム株式会社
安全衛生協力会 様
佐々木 実 様
樋口 豊 様

堀角 秀哉 様
◇金135,310円
小江戸の会 様
栗原 照夫 様
飯村 一賀 様
石井 忠浩 様
石田 正夫 様
金元 哲夫 様
金子 聡 様
黒瀬 勉 様
小山 誠 様
西郷 昭 様
菅原 俊一 様
諏訪部 喜義 様
土田 晃幹 様
堀内 孝 様
山下 正 様
山田 義幸 様
◇金57,000円
東芝府中理窓会 様
藤田 忠雅 様
阿部 真吾 様
池上 徹 様
石原 和彦 様
井出川 洋 様
今井 陽一 様
大島 覚 様
岡部 優介 様
奥山 博通 様
小尾 俊之 様
川里 晃 様
河内 恭三 様
久留間 博也 様
小泉 正明 様
小倉井 久美 様
古根村 明 様
小林 智恵子 様
柴崎 和夫 様
島崎 好裕 様
瀧口 彬子 様
武田 享悦 様
塚原 大祐 様
鳥光 淳 様
中西 厚太 様
中村 久仁子 様
畠山 拓也 様
早川 ルミ 様
東原 和弘 様
平田 昭彦 様
府川 直弘 様
福田 淳 様
村田 尚彦 様
矢野 明宏 様
山下 広悠 様
吉岡 真 様
和田 一郎 様
◇金50,000円
理窓会広島県支部 様
場田 克己 様
◇金30,000円
昭和23年応用物理学科
卒業生一同 様
和井内 哲夫 様
秋元 敬治 様
秋山 忠男 様
阿部 照雄 様
上野 美房 様
大橋 幹雄 様
小笠原 剛介 様
香取 俊雄 様
神山 保 様
軽部 眞 様
佐藤 文次 様
城田 勇 様
末木 地久 様
谷 弘成 様
古沢 平夫 様
前田 寛 様
村松 樹郎 様

【こうよう会】
◇金10,976,368円
個人 713 名
(累計金30,979,368円)

【現物寄付】
◇20円切手 180枚
福本 利通 様

●入金額 (2011年2月1日～2011年3月31日)
[個人] 5,962,000円 (35名) [法人] 9,000,000円 (2社) [団体] 307,000円 (3団体) [こうよう会] 470,000円 (11件)
●入金額 (2011年4月1日～2011年4月30日)
[個人] 31,874,600円 (855名) [団体] 437,123円 (3団体) [こうよう会] 10,506,368円 (705件)
●維持拡充資金(第二期)寄付総額 (2010年4月1日～2011年4月30日)
[個人] 89,851,791円 (1,229名) [法人] 15,141,000円 (12社) [団体] 1,218,668円 (13団体) [こうよう会] 30,979,368円 (1,172件)

問い合わせ先

東京理科大学

募金事業事務局

TEL) 03-5228-8723

FAX) 03-3260-4363

e-mail) bokinjigyoo@admin.tus.ac.jp

平成22年度決算報告

1. 資金収支計算書

平成22年度資金収入は、平成22年度予算比（以下「予算比」という。）52億9,441万円増の642億6,571万円であり、これに前年度繰越支払資金344億7,937万円を加えて、収入の部合計は、987億4,508万円です。

これに対して資金支出は、予算比16億1,058万円減の506億9,830万円であったので、次年度繰越支払資金は予算比69億500万円増の480億4,678万円となり、支出の部合計は、987億4,508万円です。

2. 消費収支計算書

平成22年度消費収入は、予算比22億1,674万円減の366億4,717万円です。

これに対して消費支出は、予算比6,997万円減の393億4,602万円です。この結果、平成22年度の消費収支差額は26億9,884万円の支出超過となり、平成21年度から繰り越されてきた消費支出超過額124億8,597万円を加え、基本金取崩額80億6,474万円を差し引くと、平成23年度への繰越消費支出超過額は、71億2,007万円となります。

3. 貸借対照表

平成22年度末の資産の部合計は、前年度末比21億7,241万円増の1,910億4,867万円です。

また、負債の部合計は、前年度末比6億3,000万円減の410億9,567万円です。

基本金の部合計は、前年度末比25億6,349万円減の1,570億7,308万円です。

消費収支差額の部合計は、翌年度繰越消費支出超過額が71億2,007万円です。

(詳細は本学ホームページ)

●平成22年度 資金収支計算書(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

収入の部 (単位：円)			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	26,374,913,000	26,542,511,000	△167,598,000
手数料収入	1,658,675,000	1,748,403,495	△89,728,495
寄付金収入	489,000,000	384,739,736	104,260,264
補助金収入	4,785,729,000	4,341,649,560	444,079,440
資産運用収入	366,844,000	446,947,882	△80,103,882
資産売却収入	21,700,000,000	26,696,972,274	△4,996,972,274
事業収入	1,176,310,000	1,365,152,149	△188,842,149
雑収入	955,230,000	1,069,778,984	△114,548,984
前受金収入	17,270,825,000	17,493,179,457	△222,354,457
その他の収入	2,586,128,000	2,669,529,035	△83,401,035
資金収入調整勘定	△18,392,356,000	△18,493,151,283	100,795,283
前年度繰越支払資金	34,479,367,979	34,479,367,979	-
収入の部合計	93,450,665,979	98,745,080,268	△5,294,414,289

支出の部 (単位：円)			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	16,853,364,000	16,575,383,147	277,980,853
教育研究経費支出	10,035,139,000	9,055,216,821	979,922,179
管理経費支出	3,048,226,000	3,515,812,030	△467,586,030
借入金等利息支出	366,829,000	333,235,231	33,593,769
借入金等返済支出	5,803,160,000	5,803,160,000	0
施設関係支出	5,502,672,000	4,355,313,923	1,147,358,077
設備関係支出	2,675,777,000	2,000,306,799	675,470,201
資産運用支出	7,115,222,000	10,619,907,034	△3,504,685,034
その他の支出	2,185,192,000	2,075,448,009	109,743,991
〔予備費〕	300,000,000	-	300,000,000
資金支出調整勘定	△1,576,695,000	△3,635,480,785	2,058,785,785
次年度繰越支払資金	41,141,779,979	48,046,778,059	△6,904,998,080
支出の部合計	93,450,665,979	98,745,080,268	△5,294,414,289

●貸借対照表(平成23年3月31日)

資産の部 (単位：円)			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定資産	141,881,338,974	153,303,634,800	△11,422,295,826
有形固定資産	111,153,436,819	126,837,991,725	△15,684,554,906
その他の固定資産	30,727,902,155	26,465,643,075	4,262,259,080
流動資産	49,167,334,147	35,572,629,967	13,594,704,180
資産の部合計	191,048,673,121	188,876,264,767	2,172,408,354

負債の部 (単位：円)			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定負債	19,478,510,833	20,711,661,959	△1,233,151,126
流動負債	21,617,154,728	21,014,002,768	603,151,960
負債の部合計	41,095,665,561	41,725,664,727	△629,999,166

基本金の部 (単位：円)			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
第1号基本金	140,863,830,307	148,928,570,348	△8,064,740,041
第2号基本金	14,001,250,000	8,500,000,000	5,501,250,000
第3号基本金	100,000,000	100,000,000	0
第4号基本金	2,108,000,000	2,108,000,000	0
基本金の部合計	157,073,080,307	159,636,570,348	△2,563,490,041
消費収支差額の部合計	△7,120,072,747	△12,485,970,308	5,365,897,561
負債の部、基本金の部および消費収支差額の部合計	191,048,673,121	188,876,264,767	2,172,408,354

計算書について

資金収支計算書は、教育研究等の諸活動に要する1年間の資金の収入、支出をみるもので、支出に対応する収入がどのような源泉から調達されているかをみることができます。また、借入金などの負債性のある収入や、固定資産取得に必要な支出、借入金返済などが全体の収支にどのような役割を果たしているかなどもみることができます。

消費収支計算書は、毎年度の経営状況を示すものです。「消費支出」とは、学校法人が教育研究等の諸活動に消費する資産の取

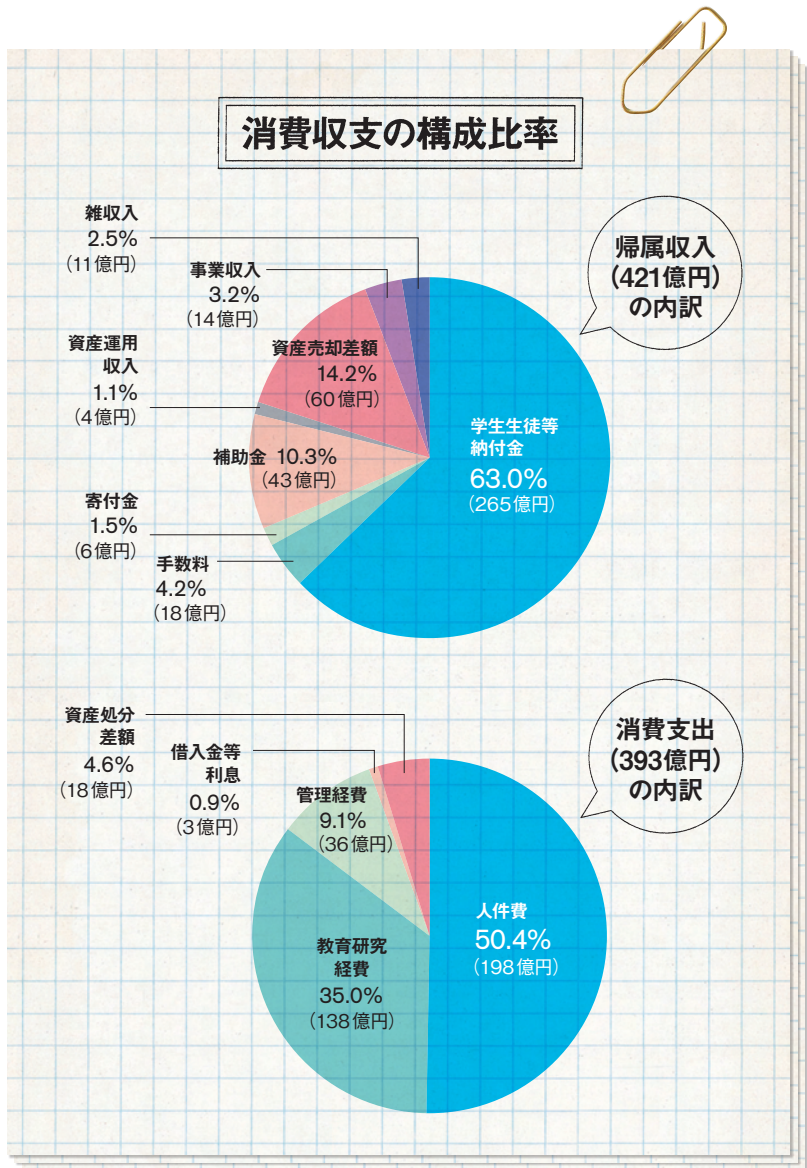
得価額または用役の対価のことです。「消費収入」とは、「消費支出」に充当し得る収入のことであり、負債性のない収入（帰属収入）から資本的支出（基本金組入額）を控除したものをいいます。「消費収入」と「消費支出」を対比することにより、収入超過か支出超過かが分かります。

貸借対照表は、年度末における資産、負債、基本金および消費収支差額の状態を表示し、年度末時点での財政状態を表す重要な財務資料です。

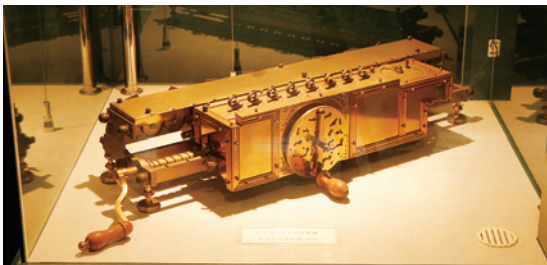
●平成22年度 消費収支計算書(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

消費収入の部 (単位：円)			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	26,374,913,000	26,542,511,000	△167,598,000
手数料	1,658,675,000	1,748,403,495	△89,728,495
寄付金	819,000,000	644,829,507	174,170,493
補助金	4,785,729,000	4,341,649,560	444,079,440
資産運用収入	366,844,000	442,374,145	△75,530,145
資産売却差額	5,992,856,000	5,992,933,813	△77,813
事業収入	1,176,310,000	1,365,152,149	△188,842,149
雑収入	955,230,000	1,070,570,988	△115,340,988
帰属収入合計	42,129,557,000	42,148,424,657	△18,867,657
基本金組入額合計	△3,265,647,000	△5,501,250,000	2,235,603,000
消費収入の部合計	38,863,910,000	36,647,174,657	2,216,735,343

消費支出の部 (単位：円)			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	20,741,051,000	19,843,608,690	897,442,310
教育研究経費	14,737,677,000	13,782,042,740	955,634,260
管理経費	3,132,089,000	3,594,043,082	△461,954,082
借入金等利息	366,829,000	333,235,231	33,593,769
資産処分差額	138,339,000	1,792,151,394	△1,653,812,394
徴収不能引当金繰入額	0	456,000	△456,000
徴収不能額	0	480,000	△480,000
〔予備費〕	300,000,000	-	300,000,000
消費支出の部合計	39,415,985,000	39,346,017,137	69,967,863
当年度消費支出超過額	552,075,000	2,698,842,480	-
前年度繰越消費支出超過額	12,485,970,308	12,485,970,308	-
基本金取崩額	0	8,064,740,041	-
翌年度繰越消費支出超過額	13,038,045,308	7,120,072,747	-



Topics



上／広々とした1階吹き抜け部分。中／1671年にライプニッツが発案した四則演算用の計算機（レプリカ：国立科学博物館より貸与）下／大型計算機展示コーナー。

資料館リニューアル

5月18日(水)、近代科学資料館のリニューアルを記念するセレモニーが行われ、佐藤毅担当理事をはじめ学内関係者18人、また学外から日本科学未来館副館長の小中元秀氏など総勢36人が出席しました。竹内伸館長のあいさつに続いて施設見学が行われ、2階に新設された企画展示室など館内をくまなく見学しました。

館長メッセージ 館長 竹内 伸

本学創立110周年を記念して、平成3年に故二村富久氏のご寄付により建てられた二村記念館の中に設けられた近代科学資料館は、20年を経過し、所蔵品も増えて展示環境が悪化しておりましたが、このたび、創立130周年を迎えるにあたり20年ぶりに大々的にリニューアルしました。2階も資料館として利用可能になり、スペースが大幅に増えました。そこで本学の前身、東京物理学校関係のものを2階のレトロな雰囲気のある部屋（旧会議室）に集めて「物理学校から理科大学へ」の常設展示場とし、1階は「計算機の歴史」と「録音技術の歴史」の2つの常設展示に区分けして整備しました。計算機の歴史の展示では、機械式計算機を増設し、コンピューター・ゲームコーナーを設けるなど、展示内容がますます充実したものになり、世界的にも誇れる内容です。録音技術の歴史は、エジソンの蓄音機から始まる録音技術の変遷を分かりやすく展示しています。1階の吹き抜けの部分は、広いホールとして中央にテーブルと椅子を設置し、2階には20席の映像室を設けて、来館者が腰掛けてくつろげる環境を整えました。中・高・大学生や一般市民が楽しんで学べる博物館として、「理学の普及」の精神に貢献したいと考えます。

長万部毛がにまつりで坊っちゃん焼き販売

旬の毛がにを題材としたさまざまなイベントを通して旬の味覚を提供する、長万部町の代表的なイベント、「おしゃまんべ毛がにまつり」が6月25日(土)・26日(日)に開催されました。行列ができる毛がに即売会、個性溢れるかに飯を食べ比べる「かにめしサミット」、男女各部門に分かれて景品の毛がにを目指すメインイベント「毛がに早食い競争」など、大いに盛り上がりました。

今年はそんな楽しい毛がにまつりに参加するべく、本学オリジナルスイーツ「坊っちゃん焼き」が初めて長万部町に上陸し、屋台で販売されたのです。

今回限定で材料も「北海道」にこだわり、メニューは北海道産あんこ・ちくわマヨネーズ・チョコの3種類。多彩な味わいの坊っちゃん焼きは、長万部でも大人気で、地元の方々に飛ぶように売れ、1度に15個の生産では間に合わないほどの盛況ぶりでした。2日間で1,000個以上を販売し、実際に召し上がった方々からは「ちくわマヨネーズが美味しいです」「東京で買いたい!」「坊っちゃんが可愛い」という声が寄せられ、ご当地ゆるキャラの『まんべくん』に負けない人気ぶりを見せつけました。

本学学生もよさこい部・ダンス部が特設ステージで演舞を披露し、またボランティアスタッフとして活躍するなど、まつりの成功に貢献しました。(広報課・安中)



平成23年度科学研究費補助金 299件内定

平成23年度科学研究費補助金(以下「科研費」)予算は、①若手研究者の「チャレンジ」機会の拡大、②多様な学術研究を支える基盤研究の充実、③新たな研究領域(新学術領域研究)の拡充を主軸として、前年度より633億円増額され総額2,633億円となりました。このうち平成23年度分は、前年度より約178億円増の1,929億円です。また、新たな施策として、一部研究種目(基盤研究(C)、挑戦的萌芽研究、若手研究(B))の新規採択課題について基金制度(学術研究助成基金助成金制度)が導入。これにより年度を越えた契約や物品購入が可能となり、会計年度に捉われない柔軟な研究費執行が可能となりました。

予算増により新規課題の採択状況も全国平均28.7%となり、前年度より6.6%増加しています。採択件数において

は、ここ5年間で国公立大学は60.2%から57.4%に低下している一方、私立大学は21.9%から24.6%と上昇傾向にあります。しかしながら応募件数を比較すると、国公立大学は私立大学よりも教員数に比べ応募件数が多く、科研費採択に向けて積極的な応募が見られます。

本学の今年度の科研費交付内定件数は299件、総額約7億2千万円で、うち間接経費は約1億5千万円でした。新規課題採択率は24.7%となり、昨年度より6%向上。基金化種目については、挑戦的萌芽研究が35.4%、基盤研究(C)が30.8%と全国平均を上回りました。

今後は更なる採択件数および採択金額増加に向けて、若手研究者の積極的な科研費応募はもとより新学術領域研究を始めとした大型プロジェクトでの新規採択に期待します。

●本学教員の申請・内定状況(H23.4.28付交付分まで)

区分			特定領域研究	新学術領域研究	基盤研究(S)	基盤研究(A)	基盤研究(B)	基盤研究(C)	挑戦的萌芽研究	若手研究(A)	若手研究(B)	研究活動スタート支援	研究成果公開促進費(学術図書)	特別研究員奨励費	奨励研究	合計
平成23年度	申請件数	新規	1	27	1	8	54	117	48	12	154	28	1	13	5	469
		継続	4	7	3	0	21	70	8	3	37	4	0	26	0	183
		計	5	34	4	8	75	187	56	15	191	32	1	39	5	652
	内定件数	新規	0	4	0	0	6	36	17	2	35	-	1	13	2	116
		継続	4	7	3	0	21	70	8	3	37	4	0	26	0	183
		計	4	11	3	0	27	106	25	5	72	4	1	39	2	299
平成22年度	金額(単位:千円)	直接経費	25,000	85,900	39,200	0	113,300	120,600	35,900	27,300	85,378	4,520	800	28,700	500	567,098
		間接経費	0	25,770	11,760	0	33,990	36,180	10,770	8,190	25,613	1,356	0	0	0	153,629
		間接経費	0	16,650	10,260	3,030	38,880	27,810	0	6,660	23,850	1,005	0	0	0	128,145

※研究者の転入転出による加減は行っていない

理/窓/会/だ/よ/り 会長 山田義幸

今年のホームカミングデーは10月30日(日) 神楽坂キャンパスで行われます

大学と同窓会(理窓会)の共催で行われる恒例のホームカミングデーの準備が着々と進んでいます。卒業生が年に一度、家族とともに大学してキャンパスに集まり、発展する大学の姿を眺めながらさまざまなプログラムに参加して卒業生同士の交流を深め、さらには教職員・学生・学生の父母の皆さんとの交流を広げる一大イベントです。

昨年は学生模擬店として、新聞会・理大祭実行委員会・☺フードサービス・一部体育局本部・学友会の会の5店が出店し大好評でした。ふれあいライブステージでは、和太鼓サークル、神楽坂吹奏楽団、混声合唱団、舞踏研究部の皆さんの熱演がありました。写真研究部と映画研究部の学生の皆さんの活躍で全会場の貴重な映像と音声記録が残せました。さらに、会の運営にたくさんの学生アルバイトの皆さんの力を借りました。

今年も多く皆さんの参加を期待します。今年のテーマは「ひろがる絆～世代(とき)を超えて～」です。新しい出会いを共に楽しみましょう。

悼

佐竹一夫 元教授(理学部第一部化学科) 平成23年5月21日に逝去されました。89歳。

Prize

受賞一覧

東京理科大学生の各種論文・研究発表等の受賞一覧(2011年3月～6月)

受賞者(所属・学年は受賞時)	受賞名	大会・学会名	受賞テーマ等	受賞日
岡村 大地	優秀ポスター賞	第2回The Symposium on Chiral Science&Technology:Mesochemistry&Chemical Wisdom	Diarylprolinol Silyl Ether as a Catalyst in a Catalytic, Asymmetric Reaction	2011/ 3/ 2
倉田 稔	Student Paper Award	NCSP'11	Optical CDMA System using Extended Chaotic Binary Codes with Optical Hard Limiter	2011/ 3/ 3
田口 峻平	奨励賞	ライフサポート学会	人体から離して装着する人工心臓用経皮エネルギー伝送システムー水冷装置による一次コイルの温度上昇の低減化ー	2011/ 3/ 5
大内 久和	理工研・機械工学・修2			
北村 光司	理工研・機械工学・博・修了	ベストペーパー賞	インタラクティブ遊具を用いた遊び行動と発達分析	2011/ 3/10
金 一雄	理工・機械工学・OB			
生亀 清貴	理工研・情報科学・博2	学生研究発表賞	多元分割表における周辺オッズを用いた周辺同等性に関する尺度	2011/ 5/ 7
入迫 剛志	理工研・工業化学・修2	Best Poster Prize at 9th ISE Spring Meeting	Fabrication of micro-electrochemical cell by screen-printing	2011/ 5/12
文倉 弘貴	総化研・総化・修1	優秀ポスター賞	バイクロクア酸化物電極触媒の水素酸化反応活性	2011/ 5/18
蟻田 彩子	総化研・総化・修2	RSC Poster Presentation Award	Development of the Laser Induced Surface Deformation Microscope and its Application to Measure Surface Tension of Cell Membranes	2011/ 5/26
渡邊 勇輔	理工研・機械工学・修・修了	学生優秀発表賞	四球試験による食用植物油の耐焼付き性評価	2011/ 5/27
相馬 康太	総化研・総化・修2	ポスター賞	層状ペロブスカイト構造を有するニオブ系複合酸化物光触媒の遷移金属ドーピングによる可視光応答	2011/ 6/ 2
山口 祐貴	基礎工研・材料・博2	ポスター賞	白金触媒担持酸化タングステン薄膜の高感度水素センサーへの応用	2011/ 6/ 2
川瀬 友宏	理工研・機械工学・修2	優秀プレゼンテーション賞	リブ列を有する平行平板間における粘弾性流体の乱流熱伝達の数値解析	2011/ 6/ 2

Event

2011.05～06

東京理科大学で開催されたイベントのニュースをお伝えします

01

女子美術大学との協定締結、卒業生からヒーリングアート寄贈される

6月9日(木)、神楽坂キャンパス5号館で女子美術大学(神奈川県相模原市)との包括協定調印式、ならびに昭和36K同期会(本学化学科卒業生団体)から本学へ寄贈された同大制作の絵画、ヒーリング・アート(Healing Art:癒しの芸術)2作品の贈呈式が行われました。式は塚本恒世理事長、藤嶋昭学長をはじめ、女子美術大学から大村智理事長、横山勝樹学長ら関係者、また昭和36K同期会の草間孝允会長、佐々木政子会長が列席のもと執り行われ、絵画の制作に携わった女子美大生や本学学生が見

守る中、総勢約80人が参加しました。きっかけは大村・女子美大理事長が本学理学研究科の卒業生であるというご縁によるもの。本学創立125周年記念事業に際し、昭和36K同期会から絵画寄贈の申し出があったことを発端に、両大学間で芸術と科学の融合が互いの教育・研究発展に資するとの考えに至り、今回の協定締結が実現しました。「ヒーリング・アート」とは、爽やかな気分になって心が落ち着く効果を目的とした芸術分野のこと。ぜひ5号館1階で「寛ぎと癒し」を感じてみてください。



上／幅450cm×高さ199cmの大作『飛翔』、左／右から藤嶋学長、塚本理事長、佐々木会長、草間会長、大村・女子美大理事長、横山・同大学長、右／昭和36K同期会へ感謝状の贈呈

02

春のマドンナ JAXA相馬さん講演

6月18日(土)、神楽坂キャンパス森戸記念館で女子中高生の理系進路選択を支援する「科学のマドンナプロジェクト 春のマドンナ～講演シリーズ～」が行われました。独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研究所の研究員であり、本学工学研究科OGである相馬央子さん(=写真)による講演があり、女子中高生とその保護者ら75人が参加しました。講演では、宇宙開発における取り組みや苦労したことなどを女性ならではの視点で話されました。次に行われたポスターセッションでは、女性教員や大学院生による研究発表があり、参加者は熱心に耳を傾けていました。続いて8月には、「真夏のマドンナたち 長万部サマースクール」が開催されます。



03

同窓校長懇談会開催

5月25日(水)、ホテルモントレ横浜で、毎年恒例の同窓高等学校長懇談会を開催しました。この会は全国高等学校長協会が主催する総会の開催日に合わせて行っています。全国の同窓高等学校長93人のうち、27人が出席され、本学からは塚本理事長、藤嶋学長をはじめ各学部長、教育実習指導担当教員等が出席し、総勢48人の会となりました。

懇談会では、同窓高等学校長を代表して山形県立山形南高等学校の布川元校長が、理工学部機械工学科在学中のエピソードや、高等学校での取り組みについて話されました。教育現場に携わる校長先生と大学側との貴重な交流の場として大変有意義な会となりました。



上／布川校長によるあいさつ

山口東京理科大学ニュース

地域若手リーダーと語る集い

4月21日(木)、本学と社団法人小野田青年会議所(山縣博重理事長)は、双方が協働して事業に取り組む、地域の発展に貢献することを目的に、連携協定を締結しました。

本学で行われた調印式では、本学関係者、青年会議所関係者が多数見守る中、塚本恒世学長と山縣博重理事長が締結書にそれぞれ署名・捺印し、固い握手が交わされました。

調印後のあいさつで、塚本学長は「学生が本学のスローガンである“地域産業界のキーパーソン”へ成長するために、青年会議所の皆さまには、地域の良さや社会人になるにあたっての心構えをご指導いただきたい。協働して事業を行い、地域の活性化に繋げたい」と抱負を述べました。

5月19日(木)には、この連携協定の一環で、小野田青年会議所のメンバーが講師を務め、学部4年生や大学院修士課程2年生を対象に、セミナーを開催しました。

第1部では「働くために必要とされる能力について」をテーマに講演が行われ、学生たちは、若手経営者の自らの体験に基づいた、熱意のこもった話に聞き入っていました。その後、講師と参加学生とのグループディスカッションでは、さらに深くテーマを掘り下げ、示唆に富んだ話題に触れ、質疑応答が活発に行われました。

第2部では小野田青年会議所のメンバーと学生、教職員による意見交換会を行いました。懇親会形式でバーベキューを囲み、学生たちは和やかな雰囲気の中で歓談し、働く上での大変さや、やりがいなどについて語り合いました。

学生にとって、さまざまな業界の方々と個人的に意見交換ができるこうした機会は貴重な体験となりました。本学では地域の方々との連携を強化し、就業力の育成に努めてまいります。



熱戦！スポーツ大会

5月21日(土)、毎年恒例のスポーツ大会を開催しました。当日は、好天に恵まれ、大勢の学生が参加。今年のテーマ「輪」にふさわしく、本学課外活動の代表者で組織する「スポーツ大会実行委員会」の主催で、チューターごとにチームを編成し、一丸となって熱戦を繰り広げました。

種目は、ソフトバレーボール、バスケットボール、ドッジボール、綱引きの4種目。最終種目の綱引きでは、参加者全員が2チームに分かれて、大きな掛け声とともに、力強く綱を引き、清々しい汗を流していました。

学生たちは講義や実験で忙しい毎日を送っていますが、このスポーツ大会でリフレッシュし、教職員や学生同士で親睦を深めることができたようです。

オープンキャンパススペシャルを開催

本学では、オープンキャンパスを毎月開催し、県内外から高校生や保護者の方が多数参加されています。7月30日(土)・8月6日(土)・27日(土)はオープンキャンパススペシャルを開催。全研究室の紹介や各学科の体験型イベント、保護者対象特別企画、在学生体験談、施設見学、個別相談会など、さまざまな企画を用意しております。本学の学びを知る絶好のチャンスです。皆さまのお越しをお待ちしております。

山口東京理科大学オープンキャンパススペシャル

日時：7月30日(土)

8月6日(土)・27日(土)

11:00～15:00

内容：入試説明会／研究室&施設見学
サイエンスフェア／個別相談会
保護者対象特別企画
学科体験授業 ほか

※当日は、博多・小倉・下関・徳山・広島・新山口・小野田・宇部駅など県内外23箇所から無料送迎バス(要予約)を運行。

●オープンキャンパス開催中！

日時：7月16日(土)・9月10日(土)

11:00～15:00

☆詳細はホームページでご確認ください。

URL：http://www.yama.tus.ac.jp

お問合せ先：0836-88-3500

学内外を大掃除～キャンパスクリーンキャンペーン～

5月19日(木)、今年1回目のキャンパスクリーンキャンペーンを実施しました。これは、環境教育の一環として、大学構内および周辺の清掃活動を行い、喫煙マナーや環境配慮活動の重要性を認識し、社会奉仕の精神を醸成するものです。

この日は、JR雀田駅からコンビニエンスストアまでの通学路の区域を中心に、学生および教職員がゴミ袋

を手にくまなく歩き回り、ゴミ、タバコの吸殻、空き缶等を次々と回収しました。回収後は、パルテール前のウッドデッキに設けたゴミ置き場で、全員が分類項目に従ってきちんとゴミを分別し、環境美化に対する意識を高めることができました。

本学では、ゴミをなくすエコキャンパスづくりをこれからも続けてまいります。



04

藤嶋学長が 葛飾区教職員研修会 で講演

6月6日(月)に葛飾区職員人材育成センターで葛飾区教職員研修会(主催:葛飾区教育委員会)が開催され、本学の藤嶋昭学長が講演しました。

葛飾区は「知・徳・体」の総合的な力である「人間力」の育成に向けた教育を推進しています。今回の研修会は、この教育目標を実現するため、実際に現場で教育に携わる教職員の資質・能力の向上や指導力の向上を図ることを目的として行われたもので、葛飾区内の小中学校の教員だけでなく、教育関係者、区議会議員など約40人が参加しました。藤嶋学長は「研究も教育も感動から」というテーマで、「アサガオはいつ咲くのか」、「今、降り注いでいる太陽の光はいつ発生したものか」など身の回りの現象に目を向け、疑問を持ち、感動することが大切です。また、勉強を行う上では基礎が大切。基礎を養う上では、素晴らしい本を読むことも必要です」と話しました。



葛飾区教職員研修会で講演を行う藤嶋学長

葛飾

Walk!!

Katsushika Campus Area

Vol.5 葛飾区で評判の ラーメン店

葛飾区は、知る人ぞ知るラーメン激戦区。ラーメン通が足繁く通う、名店を紹介します。

つけ麺 道

100キロの材料を3日以上煮込んで作った超濃厚つけ汁にコシのある極太麺がしっかり絡みつき、削り節の風味がより食欲をそそる。部位の違う2種類のチャーシューや日替わりトッピングにも若き店長のこだわりが光る。

●葛飾区亀有5-28-17
(営) 11:30～スープなくなり次第終了 月曜定休(月曜が祝日の際は翌日) 休業日は「麺屋 緑道」として営業でラーメンのみの販売。☎03-3605-8578



つけ麺 750円

麺・粥 けんけん

透明感を保ちつつ最大の濃さを追求したスープ。そのスープに絶妙な風味を加える自家製ニンニク油。コクと風味を追求した究極の1杯がけんけん香麺。ホタテの出汁で炊き上げたお粥との組み合わせは最高!

●葛飾区立石1-14-4クボタビル
(営) 17:30～1:00 日曜定休 ☎03-3693-8808



Cセット けんけん香麺と中華粥(小) 1,000円

麺 たいせい

動物系、魚介系合わせて20種類以上の素材をじっくり半日以上煮込んで作った黄金のスープ。あっさりした感じの見た目だが、非常にコクがあり、最後に魚介の風味が舌を覆う。余ったスープで食べるシメの雑炊もおすすめ。

●葛飾区亀有5-47-1菅井ビル1F
(営) 火曜～土曜 17:00～24:00/日曜 11:30～スープなくなり次第終了 月曜定休(月曜が祝日の際は翌日) ☎03-5697-7020



醤油半熟味玉らー麺 800円

麺屋 一燈

行列の絶えない人気店で、一押しのメニューは特製濃厚魚介つけめん。魚介系と鶏100%の動物系の濃厚ダブルスープ。真空低温で蒸し上げた2種類のチャーシューは病みつきになるおいしさ。女性が入りやすい雰囲気も人気の理由。

●葛飾区東新小岩1-4-17
(営) 11:00～15:00、18:00～22:00 月曜定休(月曜が祝日の際は翌日) ☎03-3697-9787



特製濃厚魚介つけめん 950円

諏訪東京理科大学ニュース

茅野市こどもまつりに参加

6月5日(日)に茅野市こどもまつりが地元の小学校を会場に開催され、本学からはラジコン部・JAZZ研究会・市川純章准教授の研究室が参加しました。次代の担い手である子どもたちの健全育成を目的としたこの催しは市内の30を越える各種団体が出展、今年で30周年を迎えました。本学も地域貢献活動の一環として大学開学以来参加しています。当日は快晴に恵まれ、朝10時の開場を待ちきれずに子どもたちの行列ができ、乳幼児の親子連れから中学生まで2,000人を超える来場者がありました。ラジコン部は体育館にレースコースを設営し、子どもたちにラジコンカーの操作を手ほどきし、行列ができるほど大盛況でした。

JAZZ研究会は15人の部員が交代で得意な曲を演奏し、会場のBGMとして雰囲気づくりに一役買いました。市川研究室は実行委員として参加。「おもちゃのかえっこバザール」係や会場案内係にご協力いただきました。



平成23年度坊っちゃん杯スポーツ大会

平成23年度の坊っちゃん杯スポーツ大会が、5月15日(日)に本学グラウンドおよび体育館で実施されました。

坊っちゃん杯スポーツ大会は、学生、教職員の交流を深めることを目的に毎年実施している恒例行事です。本学学生で組織する「学園生活応援団」の主催で行われ、ソフトボール、ソフトバレーボール、卓球の各種目で熱戦が繰り広げられました。

また、今年度から、学生団体対抗リレーが新たに種目に加わり、各クラブの新入部員が上級生に混じって、ハードル、パン食い競争、借り物競争などに参加し、

クラブ内の絆も深まる内容となりました。当日は、好天に恵まれ、五月晴れの青空の下、学生、教職員が精一杯スポーツを楽しみました。



清流・上川を守る 活動に参加

平成15年度に始まった上川アダプトプログラムの目的は、ハケ岳山麓から諏訪湖に注ぐ上川の清流を守ろうと、上川の両岸を企業や各団体で分担し、ゴミ拾いなどをして川に親しみを持つことです。本学も毎年参加していますが、4月17日(日)、6月18日(土)に「平成23年度第1回・第2回上川アダプトプログラム」が実施され、本学の学生・教職員約100人が参加しました。これは、本学が平成18年に行った「環境宣言」を受け、4月の修学ガイダンス等での参加の呼びかけが実ったものです。当日は大学から担当地区までの道路脇のゴミを拾いながら上川の川岸に向かい、担当地区(約1.5km)の川岸を川上と川下に分かれ清掃しました。この2日間の活動で回収したゴミは可燃ゴミ70kg、不燃ゴミ80kg。全部で軽トラック1台分になりました。

こうしたボランティア活動を通じ環境マインドを高め、大学を挙げて、地球温暖化防止のために積極的に活動を続けていきます。

親子で参加する オープンキャンパスを開催

6月19日(日)に親子で参加するオープンキャンパスが開催され、保護者を含め129人が参加しました。今回初となる“卒業生によるトークセッション”では、県内の製造業で活躍する卒業生3人を迎え、「諏訪東京理科大学で学べたこと」をテーマに語り合い、学生と先生の距離の近さなど本学の特長が紹介されました。参加者からは「就職活動には根気が必要」という言葉が印象的だった」等の感想が聞かれました。

諏訪東京理科大学 オープンキャンパススペシャル

日時: 7月24日(日)、8月7日(日)
11:00～16:00(入退場自由)
内容: 在学生によるトークセッション
模擬講義・実験・体験講座
大学周辺バスツアー/全研究室公開
推薦入試対策・模擬面接
センター入試対策リスニング体験
入試概要説明/何でも相談コーナー
就職概要説明/クラブ活動紹介
大学生生活概要説明/学食体験(無料)
キャンパスツアー ほか

※長野・松本・上田・小諸・佐久平・飯田・駒ヶ根・伊那市・甲府・茅野の各駅から無料送迎バス運行(要予約)

●秋のオープンキャンパス

日時: 9月11日(日)
11:30～15:30(入退場自由)
内容: 大学概要説明/就職概要説明
なんでも相談/各学科概要説明
研究室公開ツアー/学食体験(無料)
入試概要説明/キャンパスツアー ほか

※長野・松本・上田・茅野の各駅から無料送迎バス運行(要予約)

☆詳細はHPでご確認ください
<http://www.suwa.tus.ac.jp/>
お問合せ先: 0266-73-1244(入試センター)

二足歩行ロボット「坊っちゃん」が諏訪湖一周に挑戦!

本学システム工学部機械システム工学科市川純章准教授の研究室(学生6人)がソーラーパワーによる小型人型ロボット「坊っちゃん」の長時間・長距離歩行実験を諏訪湖畔で行いました。これまで開発されてきた多くの人型ロボットは屋内用であり、搭載する電池の制約のため長時間・長距離歩行が困難という問題がありました。

市川研究室ではロボットの活動範囲拡大と性能向上を目的として、今回の実験で問題を明確化し人型ロボ

ットの更なる技術開発へとつなげていく計画です。「坊っちゃん」は5月2日(月)にスタートし、曇り空や強風、凸凹道に苦戦しながらも7日間かけて、5月8日(日)に約16kmの諏訪湖一周に成功しました。この様子は地元各紙でも紹介されました(信濃毎日新聞 2011年5月3日付 25面「二足ロボ湖畔で歩行実験」、長野日報 2011年5月4日付 2面「ロボット湖一周挑戦中」)。今回の実験を目にした市民の方々からは「頑張って」とたくさんの声援をいただきました。





日本のフラメンコギター第一人者

今田 央さん（フラメンコギタリスト）

ギターに魅せられて数学の世界から転身
フラメンコの世界で道を究める



今田 央（いまだ・ひろし）
1964年生まれ。87年、東京理科大学理学部卒業。大学在学中にクラシックよりフラメンコに転ずる。鈴木英夫、日野道生に師事。92年に渡西。マドリッドにてホセ・ルイス・モントンに師事。93年よりフラメンコ発祥の地、ヘレス・デ・ラ・フロンテラに居を移す。パリージャ・デ・ヘレス、マノロ・サンルーカルに師事。95年、帰国。96年日本フラメンコ協会第5回新人奨励賞を受賞。2006年より日本フラメンコ協会常任理事。洗足学園音楽大学講師。

おそらく、彼の経歴を見たすべての人が「なぜ？」と疑問を抱くに違いない。

東京理科大学の数学科を卒業して、なぜフラメンコギタリストに？ そう聞くと、今田さんは「大学を受験するときには、真剣に数学者を志していたんですよ」と笑う。ギターとの出会いは中学のときだった。

「親に買ってもらったフォークギターでした。初めて弾いた曲は『神田川』だったかな（笑）。その後ロックギターを始めてバンドを組んだりもしました。当時はどこにでもいるギター少年でしたね」

そんな今田さんの人生の転機となったのが、1枚のLPレコードだった。「ニーニョ・リカルド」というフラメンコギタリストのレコードだったんですが、硬質で歯切れの良い、抜けるような音色、これまで聞いたことのない独特のリズム、変幻自在の奏法……自分がこれまで弾いてきたギターと同じ種類の楽器とは思えなかった。本当にこれがギター1本の演奏なのか、と圧倒されました」

フラメンコギターに魅せられた今田さんは、フラメンコ教室の伴奏などで腕を磨きながら、わずかながら収入も得るようになる。卒業後は、J A 共済の保険部門に就職。保険商品を設計するセクションで働きながら、演奏活動を続けていた。

「確率統計や保険数学をもとに、保障額・保険料の面から保険商品の魅力を引き出し、市場に送り出せる保険商品として具体化していく仕事です。数学者にはなれませんでした。大学で学んだ数学を生かせる職場です（笑）。仕事にはやりがいも感じていたし、何の不満もありませんでした」

ところが数年後、フラメンコをとりまく環境が激変する。「バルセロナオリンピックやセビリア万博の開催をきっかけに、フラメンコブームがやってきたんです。フラメンコ教室の数が爆発的に増えて、ギタリストの需要も急増。ステージでの演奏依頼も次々と舞い込んでくるようになりました。最初のうちは退社時刻を早めるなどして対処していましたが、これ以上忙しくなると、さすがに



高円寺のタブラオ（フラメンコの舞台がある居酒屋）「カサ・デ・エスベランサ」でフラメンコの伴奏をする今田さん。

職場に迷惑をかけてしまう……悩んだ末に、ギター1本で食べていく決意を固めました」

92年にスペインに渡って本場で武者修行を積んだ後、現在は、伴奏やステージの仕事で国内外を飛び回り、音楽大学の講師も勤めている。そんな今田さんに、あらためてフラメンコの魅力について聞いてみた。「フラメンコは、ギター、カンテ（歌）、バイレ（踊り）が三位一体となった総合芸術です。どれか一つが欠けてもいけない。常に互いを感じながら、支えあいながら、その『瞬間』を共有する……これは他のジャンルでは味わうことのできない魅力だと思います」

ギターの音色と歌、踊り手の手拍子すべてが揃った時の高揚感。その瞬間を求めて、今田さんはギターの道を究めていく。

就職

国家公務員I種試験18人が合格

人事院は6月20日（月）、平成23年度国家公務員採用I種試験の最終合格者数を発表しました。申込者数は前年度より679人増の27,567人、合格者数は前年度より76人増の1,390人でした。

本学からは18人（前年度20人）が合格し、昨年と比較すると若干減少はしたものの、その実力をいかに発揮しました。大学別順位では全大学中第15位、私立大学中では第4位となり、理工系区分のみでは私立大学中で第2位という結果になりました。

本学で学んだ知識・技術を生かし、社会全体に貢献できるのが公務員です。特に、科学技術立国として発展した我が国の行政エリアでの理工系出身者の役割は極めて大きくなっています。国家公務員採用I種試験に合格し、文部科学省・国土交通省・特許庁等に入省した本学の卒業生は、我が国の政策立案に深く携わり、世界を舞台に活躍しています。

本学においては、試験合格者に対して表彰および奨学金（後期分授業料相当）の授与を行っていますので、今年度合格者は各校舎就職課（就職支援室）に申し出てください。また、国家公務員採用I種試験には「提示延期」という、合格から3年間入省資格を有する制度がありますので、在学中から積極的に受験してください。

本学では次年度試験に向けて、各種支援

●出身大学別最終合格者数(全区分)

順位	大学名	合格者数
1	東京大学	444
2	京都大学	167
3	早稲田大学 ☆	105
4	慶應義塾大学 ☆	57
5	東北大学	55
6	大阪大学	45
7	東京工業大学	39
7	一橋大学	39
9	北海道大学	35
10	九州大学	33
10	名古屋大学	33
12	神戸大学	24
13	立命館大学 ☆	23
14	筑波大学	21
15	東京理科大学 ☆	18
15	東京農工大学	18
15	中央大学 ☆	18
18	同志社大学 ☆	12
19	明治大学 ☆	11
20	岡山大学	10
20	横浜国立大学	10

※☆は私立大学を表す。

行事を10月から随時開催し、引き続き公務員希望者を全面的にバックアップいたします。なお、就職課（就職支援室）には過去問題や参考書等、数多くの公務員関係資料があり、随時相談にも応じていますので積極的に活用してください。

平成24年度から国家公務員採用試験が変わります！

平成24年度から国家公務員採用試験の試験制度が変わります。名称が国家I種から「総合職試験」に変わり、試験の種類も「院卒者試験」と「大卒程度試験」の2つに区分されます。詳しくは就職課（就職支援室）にお問い合わせください。本学ではこれまでどおり各種対策講座を実施し、学生の皆さんが合格できるよう支援していきます。

スポーツフェスティバル

野田キャンパスで、研究室対抗のスポーツフェスティバルが開催されました

6月11日（土）、12日（日）に9人制ソフトバレーボール「東京理科大学創立記念 学長杯・理事長杯争奪 第9回研究室対抗スポーツフェスティバル」（主催：東京理科大学野田体育研究室）が野田キャンパスの森戸記念体育館で行われました。

薬学部、理工学部、基礎工学部の34研究室・32チームが参加。卒研究生、大学院生、研究生、教員など15人ほどでチーム編成し、メンバーの年齢や性別で野田ブロックと運河ブロックに分かれトーナメント方式で対戦。15ポイント先取3セットマッチ戦で、各ブロックの優勝をめざして熱戦が繰り広げられました。

野田ブロックの優勝は、理工学部工業化学科の井手本康教授率いる「井手本研究室」チーム。同学科の湯浅教授率いる「湯浅研究室」チームを2対0で破り、学長杯を手に入れました。

運河ブロックの優勝は理工学部工業化学科の阿部正彦教授と酒井秀樹准教授率いる「阿部・酒井研究室A」チーム。同学部応用生物科学科の峯木教授率いる「峯木研究室」チームを2対0で破り、理事長杯を勝ち取りました。

第1日目（予選リーグ）終了後は薬学部食堂「みなも」で懇親会が行われ、参加した学生たちはお互いの健闘を称えあい、和やかな様子で会は終了しました。

このスポーツフェスティバルは、薬学部の野田キャンパス移転を記念して平成15年にスタートしたもので、学部を越えた研

究室間の相互交流や親睦を目的に行われています。第4回大会は創立125周年記念大会として3日間で125試合行うスペシャルバージョンで開催し、第5回大会から「東京理科大学創立記念」と銘打って開催しています。



物 華 天 宝

私が初めて読んだ哲学に関する本は、デカルトの「方法序説」でした。大学1年の教養の講義で、レポートの課題として指定された時です。一応、「デカンショ」という言葉は知っており、大学生になったらそういった本を読みこなせようになりたいとの志は持っていたので、これは良い機会と張り切って挑戦したのですが、理解できたかどうかよく分からない状態でした。ただ、難

しいものに挑戦しているんだ、という一種の高揚感があり、精神的に充実した時間だったと記憶しています。また、それ以来、いろいろな本を読むようになりました。「街場のメディア論」を著された内田樹先生は、その著書の中で「本棚は、いずれこういった本を読みこなす人間になりたいという目標を示す意味もある」といった趣旨のことを書かれています。神楽坂キャンパスでは、8号館地下の多目的ホールに約5,800冊の蔵書を収めた新書図書館が設置され、誰でも自由に利

用できるようになっています。これは、「専門書に加え、こういった本も読みこなす幅の広い人材に育て欲しい」という塚本理事長と藤嶋学長からの理大生へのメッセージです。歴史や経済、ものの見方や考え方、日本人論や世界観等に関する深い洞察に満ちた本も数多くあります。是非、多くの方々に利用して頂きたいと思っています。ひよっとしたら、人生を変える一冊に巡り合うかもしれません。（理学部第一部応用物理学科教授 岡村 総一郎）

夏期休暇期間中の入構自粛について

本学は、東日本大震災に伴う夏期消費電力の削減方策の一つとして、8月10日（水）～8月26日（金）の期間は、教職員の一斉休暇日とすることとしました。学生の皆様においても、この期間は本学への入構は自粛してください。

次号予告

- 教学関係主要役職者紹介
- オープンキャンパス開催報告
- 真夏のマドンナたち開催報告
- ホームカミングデー 2011 イベント紹介 など

発行所

東京都新宿区神楽坂1-3
東京理科大学広報課
☎03-3260-4271
http://www.tus.ac.jp/